



エコパートナーシップうじたわら

うじたわらの^{もっ}木くん

～茶文化の源 水・緑・生命の環を育む和みのまら～

発行日：平成19年3月10日（第14号）

編集・発行：エコパートナーシップうじたわら広報部会
事務局 TEL (88) 6635 FAX (88) 3231

☆城南衛生管理組合『クリーン21長谷山』施設見学会を実施しました☆

エコパートナーシップうじたわらでは、平成19年2月28日（水）に城南衛生管理組合「クリーン21長谷山」施設見学会を実施しました。

この取組は、「自分たちの身近なごみ問題について考えよう」という趣旨で、実際のごみ処理施設を見学することにより、これからの生活に生かしていこうというものです。

クリーン21長谷山は、地球にやさしい、最新鋭のごみ処理施設であり、ごみ焼却熱エネルギーを発電に利用したり、焼却灰と飛灰を溶融設備で減容スラグ化し、再利用しているのが特徴です。



熱心に聞き入る参加者



工場内見学の様子

今回の施設見学会には総勢24名の参加者がありましたが、やはり家庭で家事を担っている主婦の方が大勢を占めました。

参加者はごみ処理の工程を順番に見学し、クレーンで攪拌されたごみの中にナイロンやビニールが多いのを発見し、家庭でのごみの分別の大切さを実感しました。

最新鋭のごみ処理施設があるからといって安易にごみを排出するのではなく、ごみの量を少しでも減らすことや分別をきちんとすることが“地球にやさしい”ということを学んだ一日でした。



省エネーロメモ



地球温暖化問題が深刻さを増していますが、残念ながら家庭から出る二酸化炭素排出量は前年度より増えています。家庭エネルギーは地球上での大きな割合を占めていますので、電気をこまめに消すこと、アイドリングストップ等々日頃の省エネ活動が地球温暖化防止に必要であることは言うまでもありません。

また意外に忘れがちなのは、ごみの分別が地球温暖化防止にとって非常に重要であるということです。ごみの中でも特にプラスチックを燃やした時に出る二酸化炭素の量はかなり大きな数値になります。確実にプラスチックは、燃やさないごみに入れることを心がけたいものです。その際には次の手順をお願いします。

- ① 2001年に識別表示が義務化され、プラスチックにはプラマークが表示されることになりました。このマークを確認したら、燃やさないごみとして扱ってください。
- ② プラスチックマークの横に番号がついているものがあります。これは材質表示マークといって、その本体が何でできているかを表しています。番号1と6の物は原則資源ごみに分別をお願いします。
- ③ 1のマークの横にキャップはプラスチックマークですと表示されています。キャップは燃やさないごみでお願いします。ソースや油に関しても、燃やさないごみになります。
- ④ 6のマークがついているものでも、表面にフィルムが貼っているものや油分など汚れがひどいものは、燃やさないごみに出してください。



コラム『ハチドリの仲間になってください』

アマゾンに伝わるハチドリの神話をご紹介します。

ある時、アマゾンの森が火事になりました。動物たちは我先にと逃げて行きます。しかし、ハチドリだけはそこに残りました。くちばしに1滴ずつ水を含み、炎の中に水滴を落とします。それを見て逃げ出す動物たちが口々に叫んで通り過ぎて行きました。

「無駄だよ、そんな水で炎が消える訳がない。」

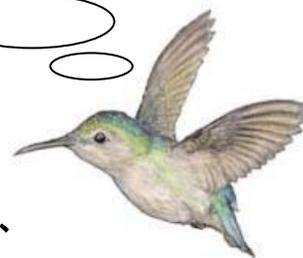
しかしハチドリは笑って答えます。

「私は自分にできることをしているだけ」

地球環境が悪化する中、環境を少しでも良くしようとする私たちの活動は、地球から見ればこのハチドリの姿と同じかもしれません。でも、私たちはハチドリをやめることはできません。何故なら小さな歩みを止めると、もっと早く地球がダメになることを知っているからです。

『小さなところからこつこつと』『エコパートナーシップうじたわら』では、皆さんの参加をお待ちしております。

まず、できることから始めてみませんか。



ハチドリ

次の方・団体から賛助会費をいただきました。誠にありがとうございました

宇治田原町、株式会社宇治田原製茶場、宇治田原工業団地管理組合、宇治田原町商工会、宇治田原町森林組合、協栄開発株式会社、区長会、JA京都やましろ宇治田原支店・田原支店、株式会社馬場義電気、株式会社播磨園製茶、米田造園土木株式会社

※平成19年2月末現在（50音順・敬称略）

☆エコパートナーシップうじたわら入会のご案内☆

◆会員の区分

- ・個人会員＝町民、町内への通勤・通学者、環境に関心のある人
- ・団体会員＝町内で活動する団体及び法人
- ・賛助会員＝本会の趣旨に賛同し、活動を支援する個人・団体及び法人

◆会費

- ・個人会員・団体会員については、無料です。
- ・賛助会員については、活動支援金として年額1口5,000円の会費を募ります。

◆入会の方法

- ・入会申込書に必要事項を記入し、事務局に申し込んでください。

◆部会

- ・広報部会…会報誌の発行、活動報告書の作成、イベント等の啓発
- ・自然・生活環境部会…河川や動植物の学習会、自然観察ファミリーハイキング開催
- ・循環型社会・地球温暖化防止部会…生ごみ処理機の普及啓発、環境家計簿の普及等

応募先・お問い合わせ先：エコパートナーシップうじたわら事務局
(宇治田原町循環型社会推進室内)

〒610-0289 京都府綴喜郡宇治田原町大字荒木小字西出10

TEL 0774-88-6635 FAX 0774-88-3231

Eメール：junkan@town.ujitawara.kyoto.jp



茶文化の源 水・緑・生命の環を育む和みのまち 宇治田原